



「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、長く続いた暑さもようやく落ち着き、朝晩には涼しさを感じるようになりました。秋の気配が少しずつ深まり、学習にも運動にもぴったりの季節がやってきます。長期予報では、今年の秋は短くなるとも言われていますが、澄み渡る青空、高く浮かぶ雲、そして乾いた爽やかな空気に包まれるこの季節を、子どもたちにしっかり味わってほしいと思います。



兎塚学園秋季大運動会

9月13日（土）、兎塚学園秋季大運動会が開催されました。今年度の運動会は、幼稚園・小学校・地区の演技を午前中にまとめて行う新しい形式で実施しました。地区と合同で行う演技では、「総おどり『瀬川音頭』」に加えて「玉入れ」も行われ、園児・児童が地区のテントから応援するなど、例年以上に地区との一体感が感じられる運動会となりました。

伝統演技「八幡天狗」では、子どもたちが歌を歌いながら入場し、これから戦いが始まるという盛り上がりの場面を演出します。今年は、西村区長協議会長さんがマイクで歌をリードしてくださり、子どもたちとの掛け合いがグラウンドに響き渡りました。地域の方からは「この歌を聞き、演技を見ると学生だった頃を思い出す」との声もあり、兎塚学園秋季大運動会の歴史を感じるひとときとなりました。

瀬川音頭の練習では、学校運営協議会委員の井上康子さん、兎塚地区公民館長の小林津貴子さん、そして、運動会当日に指揮台に立たれた西谷早苗さんを講師に迎え、振り付けを教えてくださいました。瀬川音頭は、音楽が流れると子どもから大人まで一緒に踊れる、地域がひとつになれる踊りです。兎塚地区に伝わる正しい振り付けを知りたいという思いから、今年は講師をお招きすることになりました。手の向き、視線、足の運びなど、一つひとつの動きについて丁寧に教えていただき、1時間の練習の中で、時間が経つにつれて動きが揃い、みんなの心がひとつになっていく感じが感じられました。練習後には、講師の方から「上の学年の子が下の子に教えている様子が素晴らしかった。元気をもらいました」とのお言葉もいただきました。本番では、地域の方がたくさん参加してくださり、大きな踊りの輪ができ、迫力ある踊りで運動会を締めくくることができました。



「楽しく全力 笑顔でやりきろう」をスローガンに、園児・児童は持てる力を出し切って演技に取り組みました。閉会式では、西村区長会長さんが「兎塚を守る大人たちと、兎塚の未来を担う子どもたちが集う、素晴らしい運動会だった」とお話しされ、地域の絆を感じる一日となりました。

PTA 本部役員・地区委員、区長協議会・体育委員・保護者の皆様には、早朝からの準備、そして終了後の片づけまでご協力いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



全国学力学習状況調査の結果より

今年度の兎塚小学校の全国学力学習状況調査の結果は、国語・算数・理科とも、県・全国平均と比べて上回っていました。質問紙の結果からは、地域や社会に関する値が高く、地域・社会貢献の意識が高いことが分かります。また、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているかを問う項目の値が高く、つながりを大切にして生活をしていることが分かります。課題としては、話の要旨や問われていることを見つけるなど、効率的に文章を読む力（読解力）や用語を正しく使って文章を書く力（表現力）が挙げられます。今後の取組として、新聞を読んで自分の考えを文章に表す活動をして、読解力・表現力の向上を図っていきます。複数の資料を関連付けて読み取ったり、使われている用語を使って書いたりして、発達段階に合わせた指導を行っていきます。また、名作に触れる機会をつくる等、読書活動の充実にも取り組んでいきます。

飛行機体験

9月26日（金）、3・4年生が飛行機体験で大阪に行ってきました。当日は天候不良のため、行きの飛行機が欠航となり、マイクロバスでの移動となりましたが、帰りは天気が回復し、無事に飛行機で帰ってくることができました。最初に訪れたのは「ニフレル」です。あか・あお・きいろといった色鮮やかな魚や、鉄砲魚など、図鑑でしか見たことのないような珍しい生き物を間近で見ることができました。子どもたちは水槽に釘付けで、目を輝かせながら観察していた姿が印象的でした。その後は、ホワイトタイガーやワニ、ペンギンなどの動物を見学しました。「カピバラはネズミの仲間で、世界で一番大きい種類です」といった飼育員さんの解説もあり、学びが深まる時間となりました。

「一日中ここにいたい！」という声も聞かれ、楽しいひとときを過ごしました。次に訪れたのは、万博記念公園内の「EXPO'70 パビリオン」です。55年前の会場の様子がミニチュアで再現されていたり、写真や映像で当時の雰囲気が紹介されていたりと、歴史を感じる展示が並んでいました。現在開催中の「EXPO2025」の影響もあってか、多くの来場者でにぎわっていました。帰りはモノレールと飛行機を利用し、一般の方々と一緒に公共交通機関での移動を体験しました。実際に施設や乗り物を利用することで、マナーや集団行動の大切さを学ぶことができ、子どもたちにとって充実した一日となりました。

